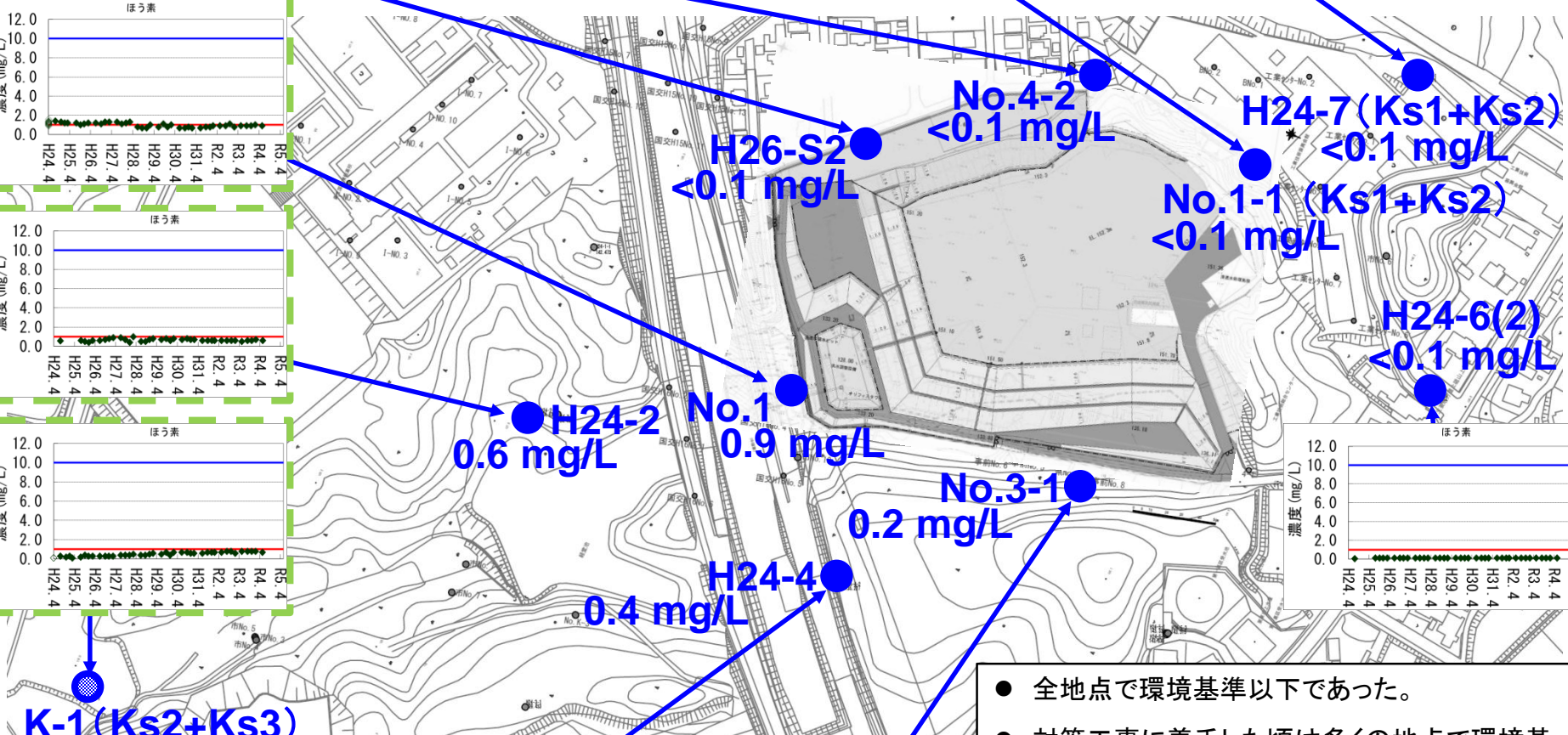
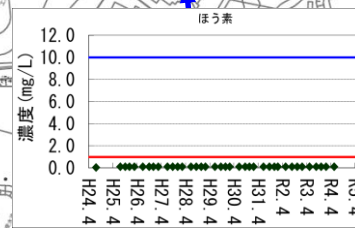
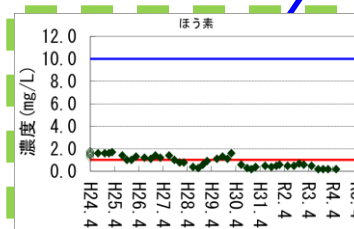
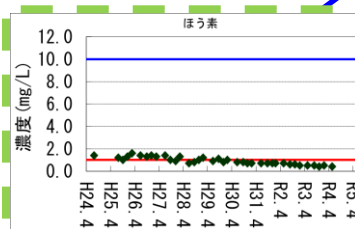
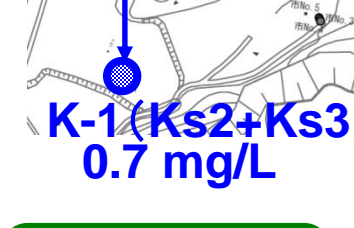
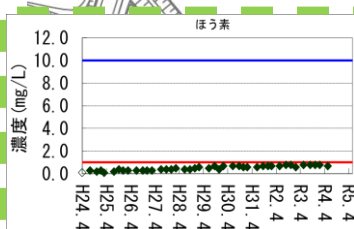
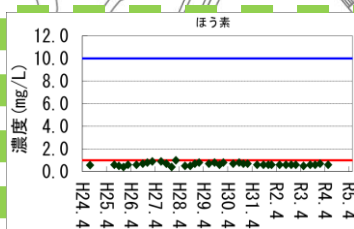
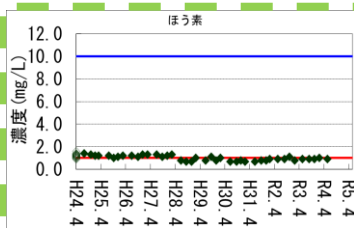
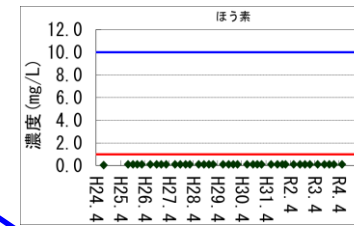
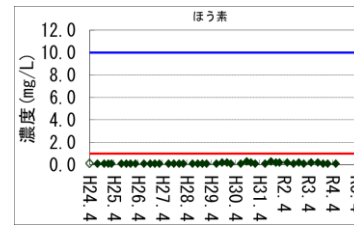
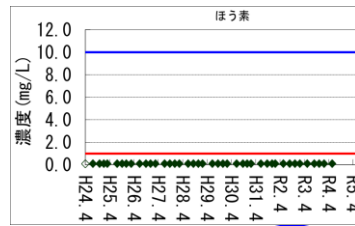
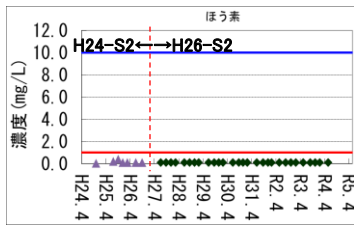


ほう素

● Ks2



H26-S2 ●
<0.1 mg/L

No.4-2 ●
<0.1 mg/L

H24-7 (Ks1+Ks2) ●
<0.1 mg/L

No.1-1 (Ks1+Ks2) ●
<0.1 mg/L

H24-6(2) ●
<0.1 mg/L

H24-2 No.1 ●
0.6 mg/L 0.9 mg/L

No.3-1 ●
0.2 mg/L

H24-4 ●
0.4 mg/L

K-1 (Ks2+Ks3) ●
0.7 mg/L

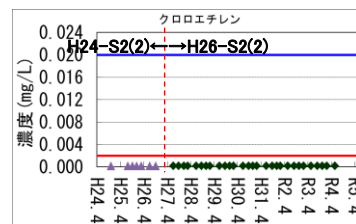
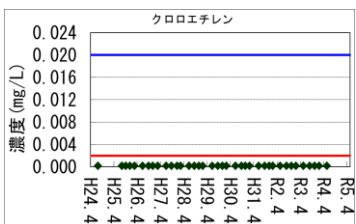
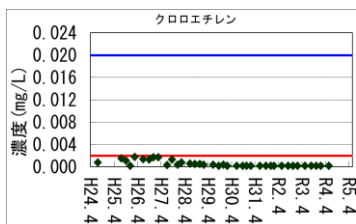
環境基準
1 mg/L

- 全地点で環境基準以下であった。
- 対策工事に着手した頃は多くの地点で環境基準を超過していたが、現在までに環境基準以下に低下してきている。
- No.1は環境基準値付近で横ばい傾向である。

クロロエチレン*

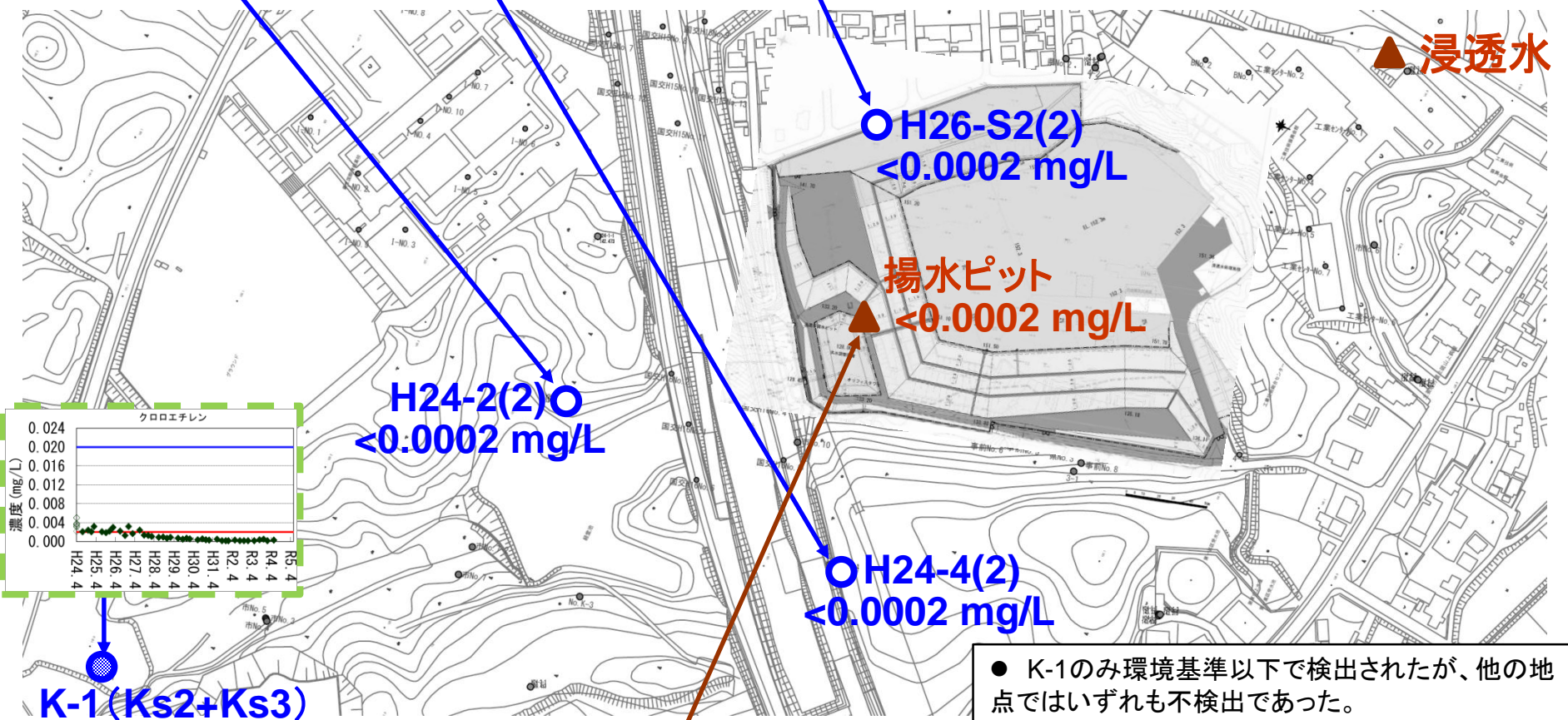
*旧称:塩化ビニルモノマー

(参考)
管理型最終処分場
排水基準
環境基準



○ Ks3

▲ 浸透水



○ H26-S2(2)
<0.0002 mg/L

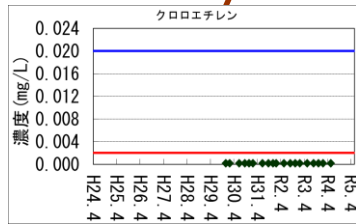
▲ 揚水ピット
<0.0002 mg/L

○ H24-2(2)
<0.0002 mg/L

○ H24-4(2)
<0.0002 mg/L

● K-1 (Ks2+Ks3)
0.0003 mg/L

環境基準
0.002 mg/L

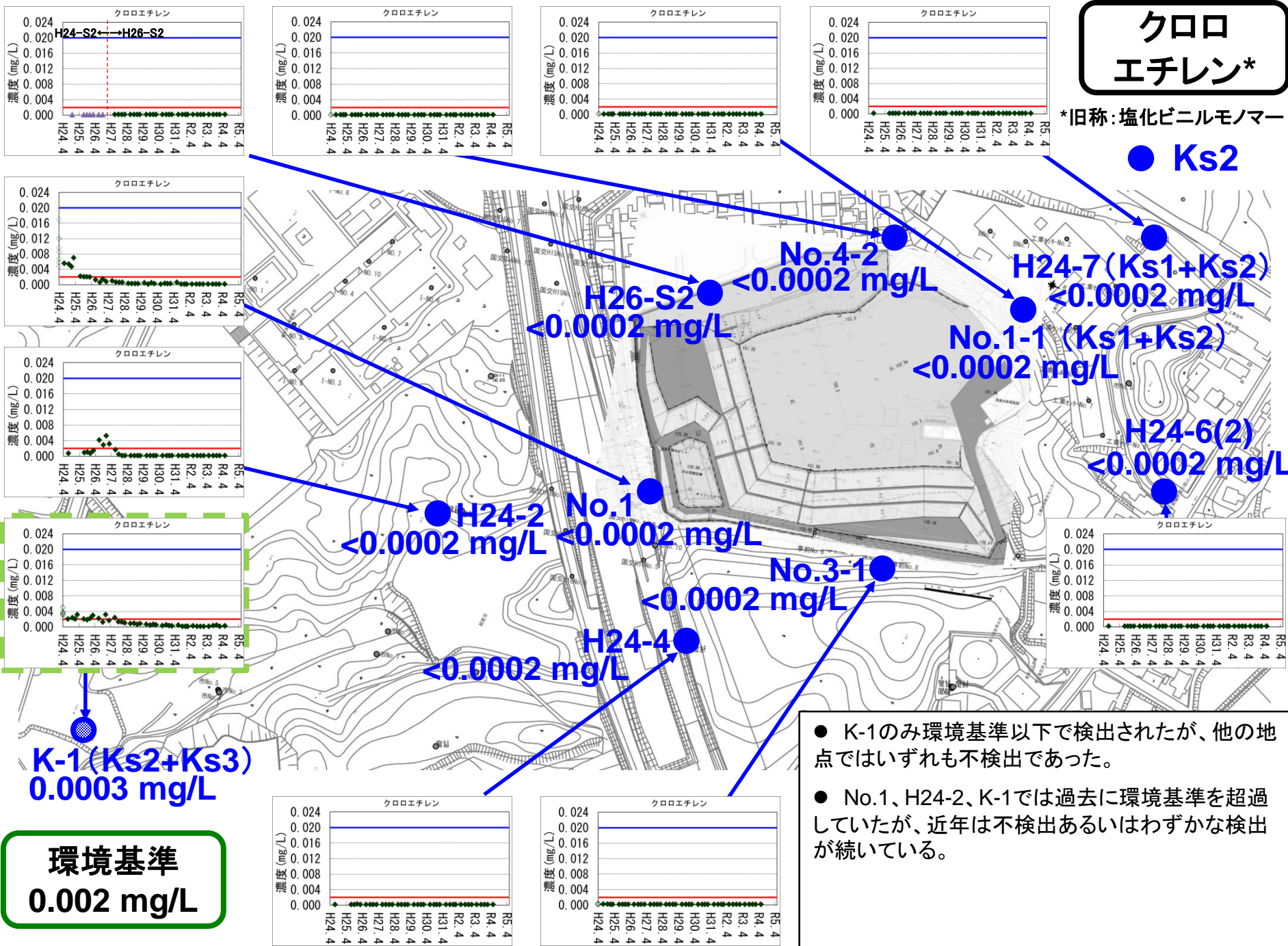


- K-1のみ環境基準以下で検出されたが、他の地点ではいずれも不検出であった。
- H24-2(2)、K-1では対策工事に着手した頃は環境基準値前後で検出されていたが、近年は不検出あるいはわずかな検出が続いている。

クロロエチレン*

*旧称:塩化ビニルモノマー

● Ks2



環境基準
0.002 mg/L

● K-1のみ環境基準以下で検出されたが、他の地点ではいずれも不検出であった。

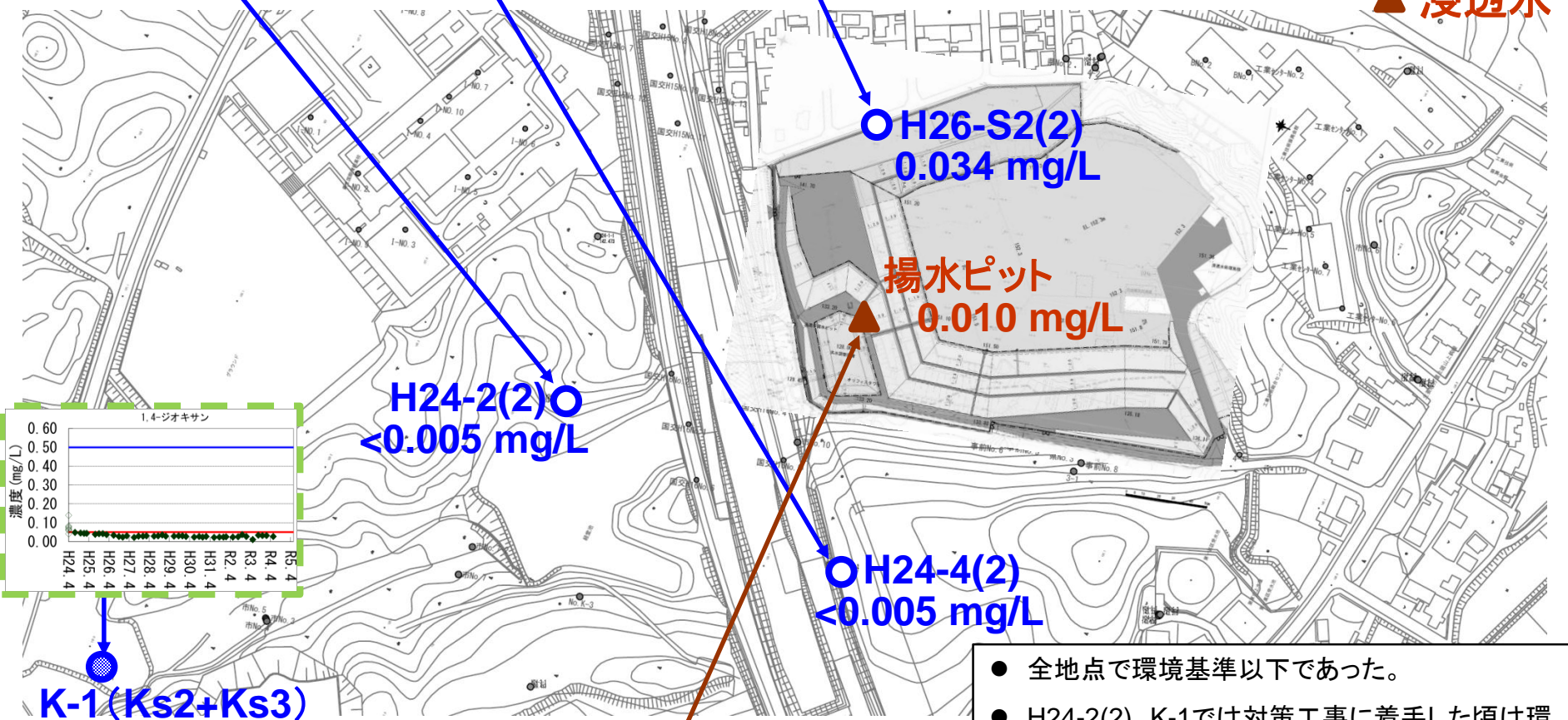
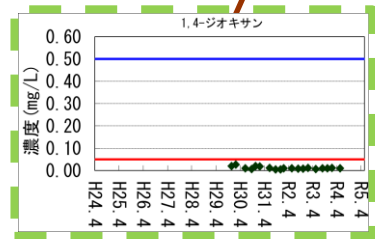
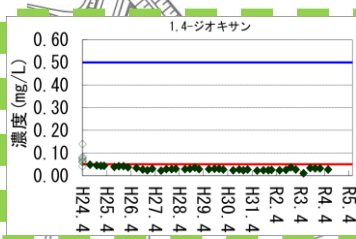
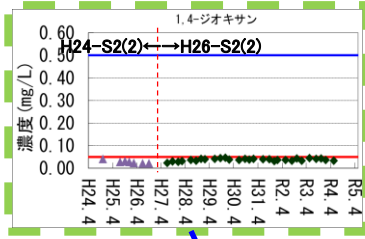
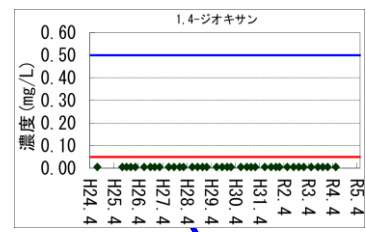
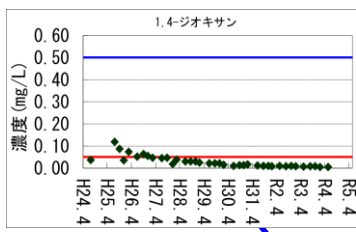
● No.1、H24-2、K-1では過去に環境基準を超過していたが、近年は不検出あるいはわずかな検出が続いている。

1, 4-ジオキサン

○ Ks3

▲ 浸透水

(参考)
管理型最終処分場
排水基準
環境基準



H24-2(2) ○
<0.005 mg/L

H26-S2(2) ○
0.034 mg/L

揚水ピット ▲
0.010 mg/L

H24-4(2) ○
<0.005 mg/L

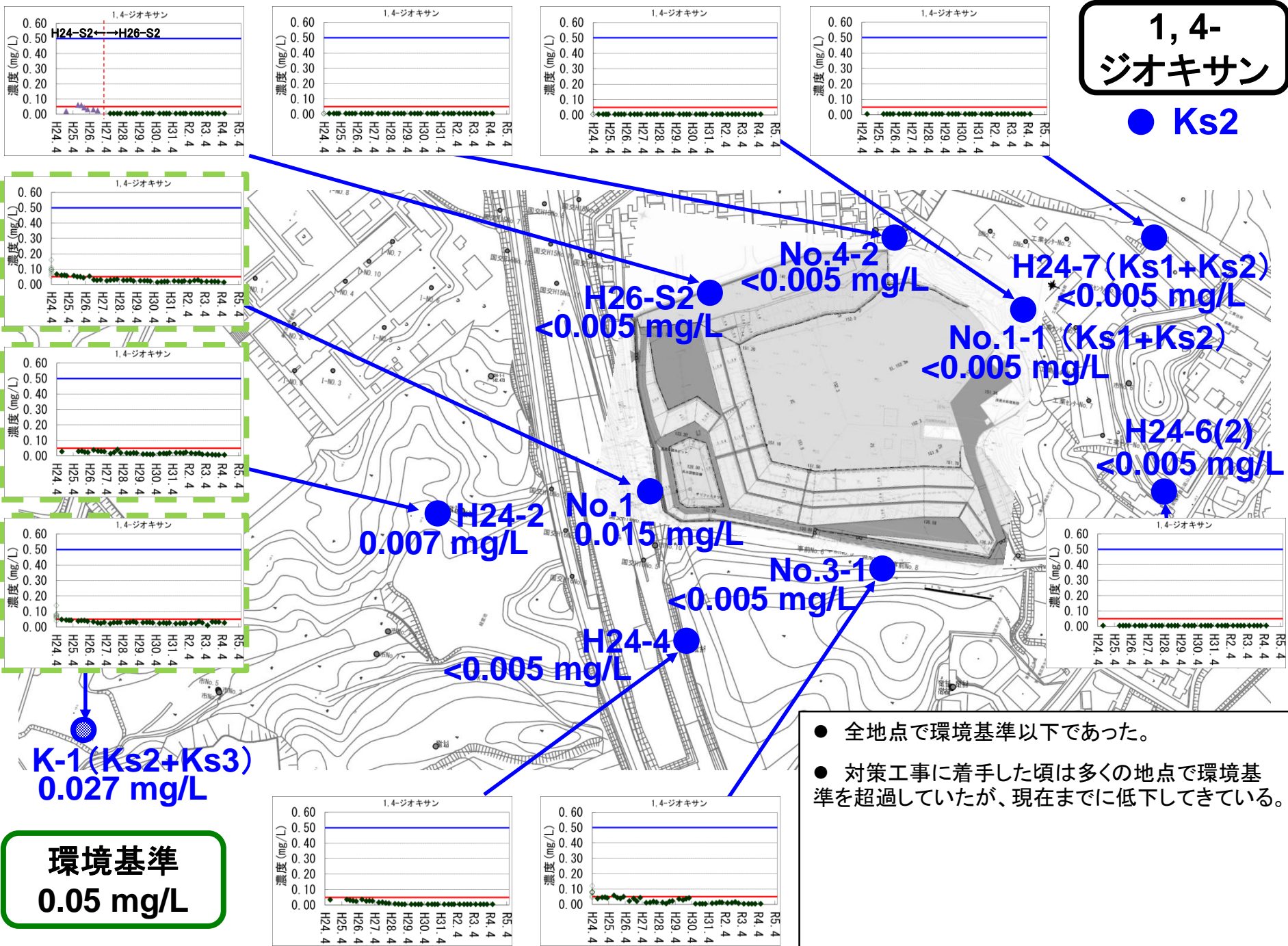
K-1 (Ks2+Ks3) ○
0.027 mg/L

環境基準
0.05 mg/L

- 全地点で環境基準以下であった。
- H24-2(2)、K-1では対策工事に着手した頃は環境基準値前後で検出されていたが、現在までに低下してきている。
- H26-S2(2)については、環境基準値の6~8割程度を推移している。

1, 4-ジオキサン

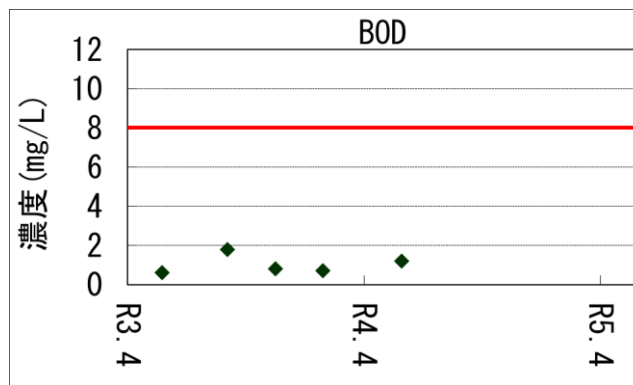
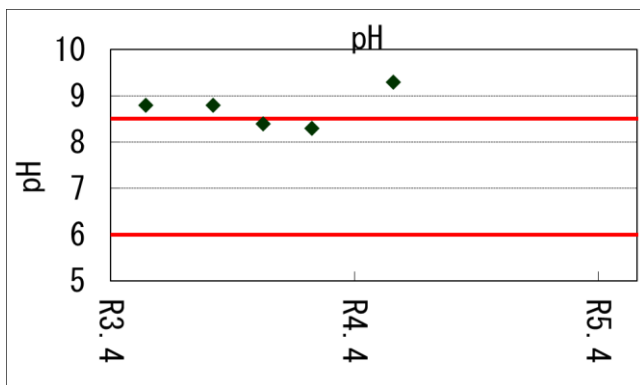
● Ks2



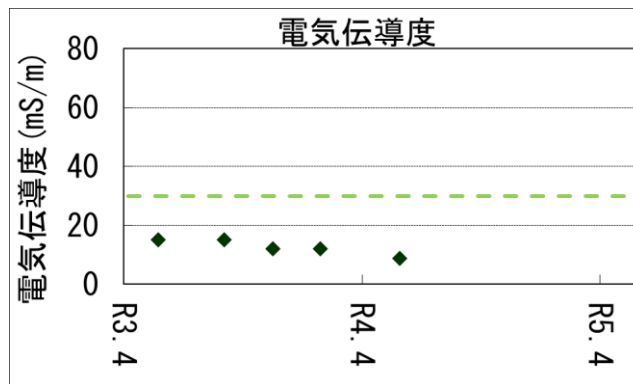
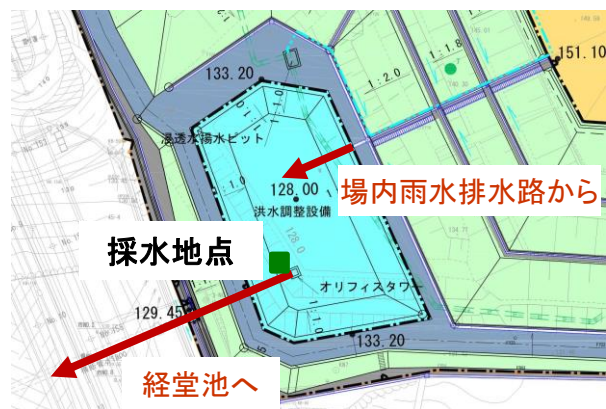
環境基準
0.05 mg/L

● 全地点で環境基準以下であった。
● 対策工事に着手した頃は多くの地点で環境基準を超過していたが、現在までに低下してきている。

洪水調整池の水質等



環境基準



(参考) 農業用水基準

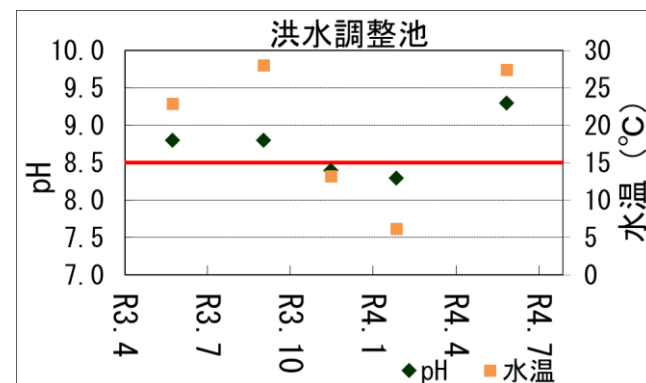
- 有害物質について環境基準の超過はなし。
- pHについて環境基準を超過した。植物プランクトンや藻類の光合成の影響によると考えられる(次頁参照)。経堂池では農業用水基準以下なので、大きな影響はないと考えられるが、今後も変動状況を確認する。

項目	単位	R4. 5. 30 (2022)	環境基準
pH	at20°C	9.3	6.0~8.5
BOD	mg/L	1.2	8
COD	mg/L	6.4	※ (6)
SS	mg/L	1.7	100
EC	mS/m	8.8	※ (30)
カドミウム	mg/L	<0.0003	0.003
ひ素	mg/L	<0.005	0.01
ふっ素	mg/L	<0.08	0.8
ほう素	mg/L	<0.1	1
鉛	mg/L	<0.005	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出
トリクロロエレン	mg/L	<0.001	0.01
テトラクロロエレン	mg/L	<0.0005	0.01
1,1-ジクロロエレン	mg/L	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエレン	mg/L	<0.004	-
シス-1,2-ジクロロエレン	mg/L	<0.002	0.04
トランス-1,2-ジクロロエレン	mg/L	<0.002	-
ベンゼン	mg/L	<0.001	0.01
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	-
1,4-ジクロロベンゼン	mg/L	<0.005	0.05
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.030	1
鉄	mg/L	0.06	-
マンガン	mg/L	0.10	-
溶解性鉄	mg/L	0.03	-
溶解性マンガン	mg/L	0.06	-
全窒素	mg/L	0.27	※ (1)
全りん	mg/L	<0.05	-
塩化物イオン	mg/L	0.6	-
備考		採水前3日程度降水なし	

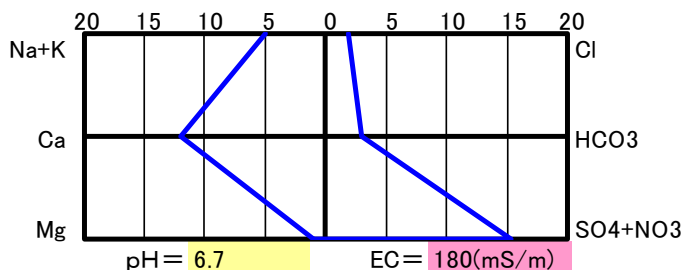
※環境基準にない項目については参考に農業用水基準を表示

洪水調整池の水質等 (pHについて)

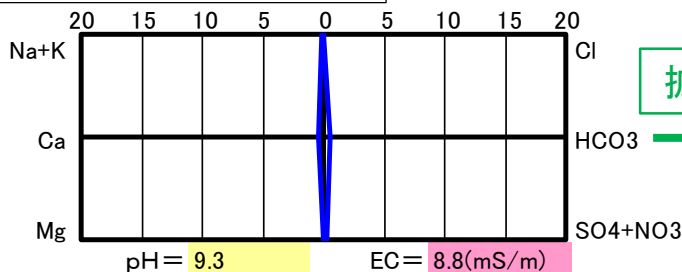
- 今までの5回の採水時は、いずれも採水前3日間以上は池内の水が入れ替わるほどの降水はなかった。
 - pHが環境基準を超過したのは、光合成が活発に行われる水温の高い調査日であり、水の色も比較的緑色や褐色気味であった。
 - 浸透水と比較すると、電気伝導度が1/20ほどしかなく、イオン組成も異なり、河川水で一般的に見られる組成であるので、浸透水の影響は受けていないと考えられる。
- 以上から、pHが環境基準を超過したのは、植物プランクトンや藻類の光合成の影響によると考えられる。



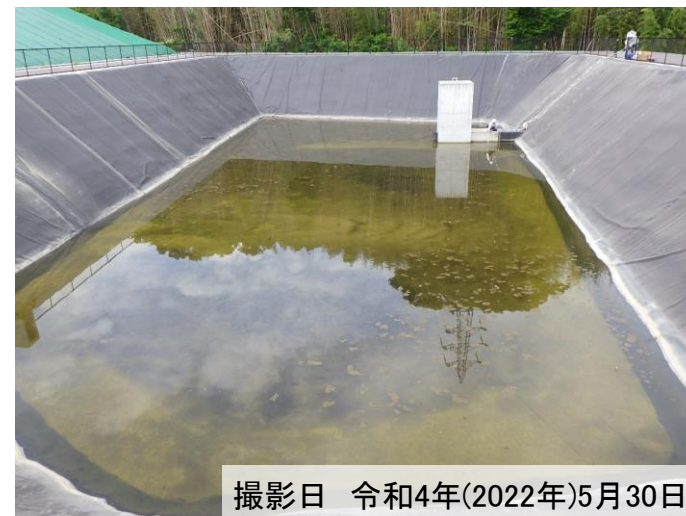
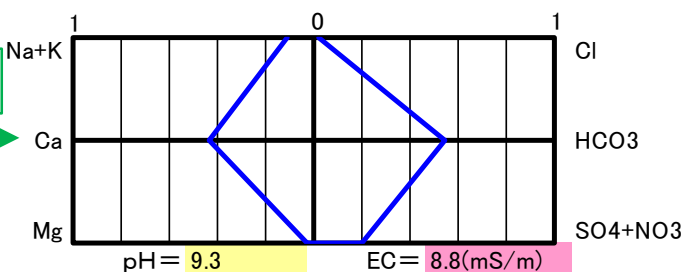
揚水ピット (R4.5.30)



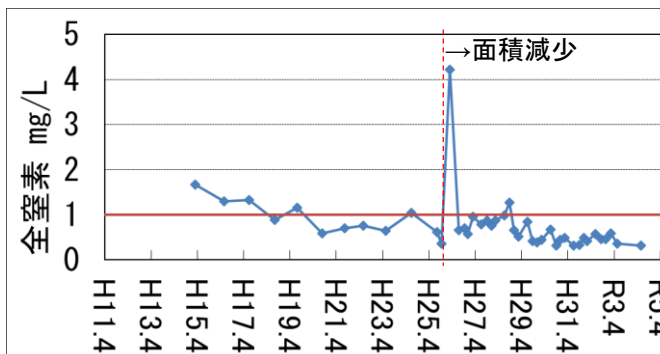
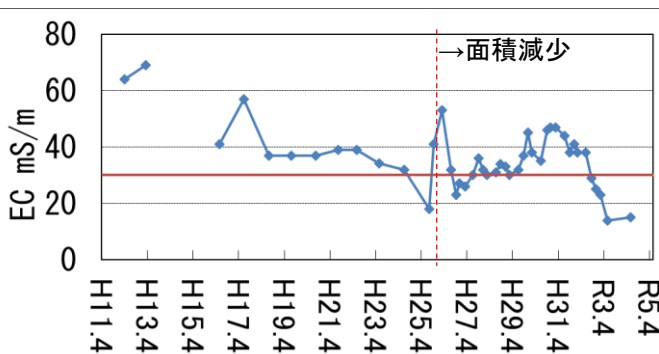
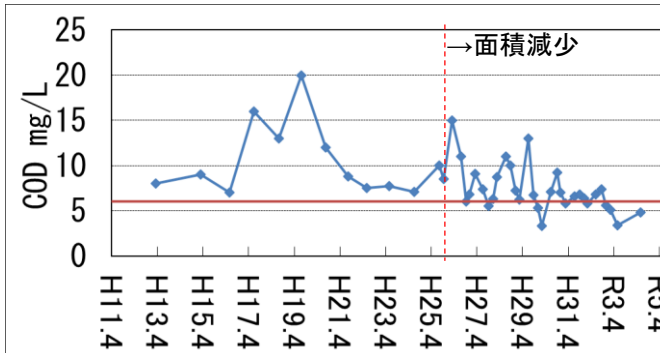
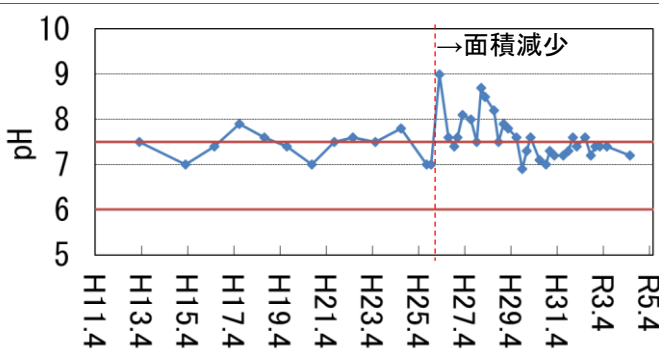
洪水調整池 (R4.5.30)



拡大



経堂池の水質等



- 過去に農業用水基準（要望値）を超過した項目の経年変化は左のとおり。
- 農業用水基準の超過はなかった。
- 次回は令和5年度第1回調査時に実施。

項目	単位	R4. 6. 1 (2022)	農業用水基準
pH (20°C)	20°C	7.2	6.0~7.5
BOD	mg/L	1.6	-
COD	mg/L	4.8	6
SS	mg/L	12	100
電気伝導率	mS/m	15	30
全窒素	mg/L	0.32	1
全りん	mg/L	<0.05	-
塩化物イオン	mg/L	5.0	-
備 考			

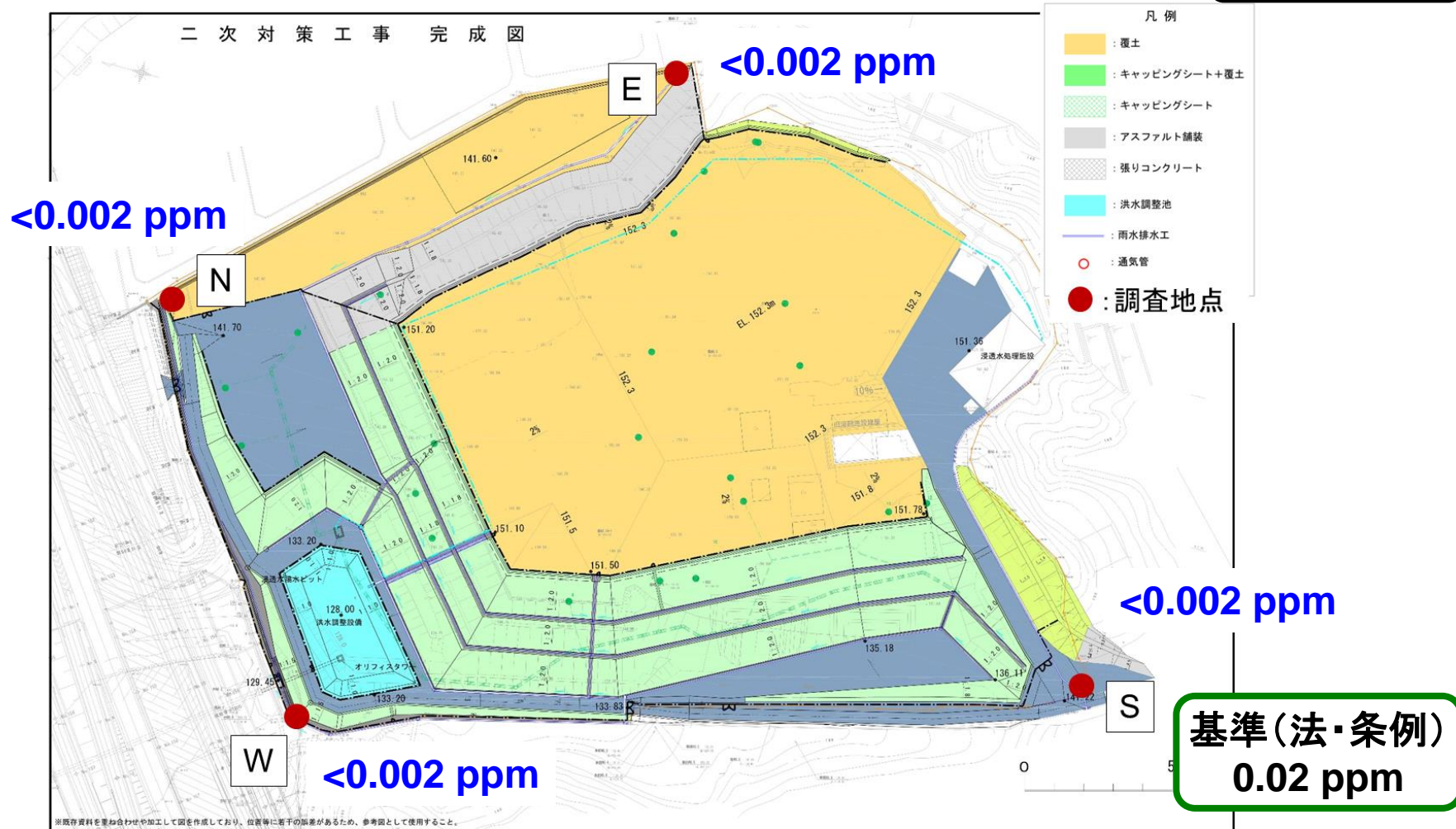
調査日	H11. 11. 17 (1999)	~	H24. 6. 29 (2012)	H25. 8. 8 (2013)	H25. 10. 18 (2013)	H25. 12. 5 (2013)	H26. 2. 25 (2014)	H26. 7. 17 (2014)	H26. 10. 17 (2014)	H26. 12. 5 (2014)	H27. 3. 2 (2015)	H27. 7. 10 (2015)	H27. 10. 5 (2015)	H27. 12. 17 (2015)	H28. 2. 18 (2016)	H28. 7. 5 (2016)	H28. 9. 21 (2016)	H28. 12. 7 (2016)	
備 考	栗東市調査			一面にヒシが繁茂		国道バイパス工事に伴う池の水抜きのため採水不可 (H25. 10末頃より)	水位が未回復 (1.2m)。常時の半分程度。工事により池の面積が減少	一面にヒシが繁茂	10/13に台風19号が通過	前日 (12/4)に降雨多	藻類発生あり 前日に降雨あり	梅雨により高水位 ヒシは見られない	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前からの降雨により高水位 一面にヒシが繁茂		

調査日	H29. 2. 15 (2017)	H29. 7. 4 (2017)	H29. 9. 27 (2017)	H29. 12. 5 (2017)	H30. 2. 8 (2018)	H30. 7. 3 (2018)	H30. 10. 4 (2018)	H30. 12. 4 (2018)	H31. 2. 15 (2019)	R1. 7. 8 (2019)	R1. 10. 1 (2019)	R1. 12. 13 (2019)	R2. 2. 5 (2020)	R2. 6. 15 (2020)	R2. 9. 15 (2020)	R2. 11. 25 (2020)	R3. 2. 4 (2021)	R3. 5. 26 (2021)
備 考	数日前に降雨あり	一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂 出口付近で採水		一面が凍結	一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂 出口付近で採水			一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂 出口付近で採水				一面にヒシが繁茂 出口付近で採水			

農業用水基準(要望値): 水稻の生育に影響を与える項目について、用水の取入口における水準として、昭和45年に農林省の公害研究会が策定したもの。

敷地境界ガス調査結果

硫化水素



- 令和4年度第1回の調査を令和4年(2022年)5月30日に実施した。
- 全地点で不検出。(6回連続)

(参考)産廃特措法実施計画の目標達成状況の評価

・悪臭防止法および栗東市生活環境保全に関する条例に定める基準を満足していること。